

平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 17 日（日）

開会：午前 10 時 00 分 閉会：午前 11 時 30 分

場所：笹尾西 3 丁目集会所

参加者：男 15 人、女 3 人 計 18 人

町職員：町長、副町長、総務部長、町民課、財政課、政策課、環境防災課

○懇談

男性

資源ごみのストックヤードですが、ほとんど機能していないと思います。自治会でも資源ごみを回収しているし、ここにいる人でも場所を知っている人はほとんどいないでしょう。建物は立派でも中身はお粗末ですよ。国の補助金をもらっているから他には使えないではなく、もっと有効活用しないとイケない。もうあそこでの資源ごみの回収をやめたらどうですか。

あと、ごみの回収ですが、在来地区は拠点回収ですが、団地は個別回収になっています。これは在来地区の人からすれば不公平な話で、団地もコスト削減のためにも拠点回収にしなければならない。もう 1 つ、不燃物やプラスチックごみの回収の回数も考えなければならない。週に 1 回だなんてもったいない話ですよ。もっとコストの削減を考えていかなければならないと思います。

町長

団地の個別回収を拠点回収にするというのは、役場の中でも議論しています。自治会長さんにもお話させて頂いていたりするんですが、なかなか御理解いただけない。議員さんのなかにもお金払ってでも個別回収してくれといわれる方もいらっしゃいます。これは最初のいきさつがどうであったかまで遡って考えなければいけないと思います。また、拠点回収の場所を作らなければなりません。我々としても、拠点回収をしたいところです。コストの削減もありますし、カラスがごみを散らかすというのも拠点なら上手くごみを守れるのかな、ということもあります。そのへんもふくめて皆様との議論が必要だと思います。

回収の回数ですが、こちらでも役場内で色々議論をしています。分別も本当にきちっとしていただければ可燃ごみの回収回数も減らしてもいいのではないかと考えていますが、これもやっぱり皆様との協議が必要になってくるかと思っています。1 週間に 1 度しか回収しなくなったら臭くなるじゃないかとよく言われますが、そういうことも含めて議論をしていきたいと思っています。

環境防災課員

ストックヤードの件ですが、今言われたのは住民さんの資源ごみの持ち込みについて利用が少ないから見直したほうがいいのか、ということだと思うんですが、

実際には、土・日曜日もやっているんですが、平日の利用件数も多いです。ごみ減量の一環で雑紙回収もやっています、雑紙は家で保管しているとかさばりますのですぐいっぱいになるんです。何週間に1回ストックヤードに持ち込みをいただいて便利だ、という声も聞きますし、あと家電類の回収も始めさせていただいてこれも好評をいただいております。また個人さんの持ち込みの回収だけでなく、ビン、カン、ペットボトルなどの回収したものを業者にわたすまでの仮置き場としての機能もあります。ただ、施設自体を100%有効活用出来ているかというところとそうでない部分もありますので、引き続き検討させていただきたいと思います。

男性 自治会でも集めているんだからコストをかけてまでする必要はあるのかということなんです。ストックヤードを廃止して自治会できっちり集めるんだとすればいいんですよ。本当に無駄だと思います。

環境防災課員 仮に住民さんからの持ち込みをやめたとしても本来の目的の仮置き場はやめられませんし、業者等が取りに来るのに管理人さんがいないというわけにもいきません。他の市町でああいった施設を上手く使用しているところもあって、施設の管理もNPO法人に委託をしながら生ごみの堆肥化をしたり、資源ごみの受け入れをしたりだとか上手な仕組みづくりに成功しているところもありますので、コスト面も含めて上手く施設の有効活用を検討していきたいと思います。

ごみの回収方法については、団地の回収方法については在来地区との差であるとかコストの削減等で財政課や町長からも見直しを言われていますので、考えているところです。今年度1,500世帯にごみの回収方法や回収回数も含めてアンケートお送りさせていただいて検討材料に使わせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

町長 平成33年度から新しい焼却施設にかかります。今年度中に工事業者を決定して工事にとりかかると思います。平成33年度からは、各市町の負担割合の計算方法が変わります。一律の負担の割合が減り、ごみの量による負担率が上がりますので、努力してごみの量を減らせば減らすほど東員町の負担が少なくなります。ぜひごみを減らす、特に可燃ごみを資源ごみに変えていく取り組みを皆様をお願いしたいと思います。

男性 つつじ公園ですが、公園の両脇に歩道があって、その歩道の出口にポールが立っています。そこを自転車で通り抜けて、その先の道路から車が来ていて危うく事故になるところでした。真ん中にポールをもう1本つけてもらえれば自転車を降りないとおれなくなるし立ててもらえないでしょうか。

あと東員町の墓地なんですが、草刈りとか掃除はどこでやっているんですか。今草がのびて大変汚くなっています。

町長 公園については、現場確認させていただいて早急に手を打ちたいと思います。

町民課長 墓地の清掃はシルバー人材センターに委託させてもらっていますので、シルバー人材センターに確認させていただきます。

男性 生ごみの乾燥機の補助金ですが、7年くらい前に補助金もらって買ったんだけど買い替えする場合は補助はもらえますか。

環境防災課 7年以上経過していて使用不可な場合は再度の申請は可能です。

男性 空き家対策についてですが、7月号の広報の中に空き家対策計画を策定しましたという記事がありました。それで質問なのですが、空き家が590軒、その他住宅が400軒とあるんですが、この差はアパートかなんかだと判断して実質は400軒だと考えていますが、その考えでよろしいでしょうか。空き家の実態調査をしたということで、142軒とあるんですが400軒の中の142軒ととらえていいのでしょうか。あと、ホームページで空き家と検索してすぐ出るように整理してもらえればいいと思います。

町長 実際に空き家というのが590軒くらいあります。142軒というのはその内水道の栓が止まっているところなんです。水道の栓が止まっていないところというのは、時々誰かが来て掃除をしたりだとか、出張先からたまに帰ってくるだとかそういうものだと思うんです。142軒というのは水道も使わない、変な言い方ですが、本当の空き家だと考えています。その142軒の内18軒が壊さないと危険な特定空家なんです。今までは土地に家が建っていると減免措置があったんですが、特定空家になると減免措置がなくなり税金が上がります。ですから壊してくださいということになります。今笹尾の保育園跡地を、大和ハウス、ミサワホーム、トヨタホームの3社で住宅開発をさせていただいています。若い人が入ってくるような住宅を13棟建てます。この住宅開発だけではなく、団地の空き家をリフォームするなどして市場に出していきたいということもこの3社とお話させていただきました。この3社は名古屋方面の情報もたくさん持っていて、東員町のニーズはとて高いというお話もされていました。業者だけではなかなか話を持っていっても進みませんが、そこに行政も入って行って空いているのなら売っていただけませんかという仲介をして、市場に出していくようなかたちにしていきたいと思います。まずは、142軒を手始めにやっていき、たまに見に来てはいるけどもう今後住む予定はないというところに手を広げていきたいと思っています。

男性 財政調整基金のことで伺いたいと思います。平成28年度の当初予算の概要という資料をみたんですが、平成27年度末で残金が21億3,400万円で平成28年度に2億3,800万円取り崩しを行わないといけないということです。特別なことがあってお金

がでていくのはしょうがないと思うんですけど、議会の説明を聞いて私が理解した範囲では、経常的な経費が不足していてその分の取り崩しをしないといけないということで、それで考えるとこの手法は10年しか使えないということが一般的な常識で分かると思います。そういう状況下で考えられるのが増やすということだと思いますが、議会で企業は法人税を1億円以上納税していただいているのを聞いて、東員インターチェンジ周辺や東員駅周辺で企業誘致を出来ないかと思っています。1億円以上の納税額の企業というのは難しいと思うので、1,000万円くらいの企業を20社ほど誘致すれば財政調整基金を使わずにすむと思います。

あともう1つ。町民税を上げることを考えているかどうかお聞きしたいと思います。

町長

財政調整基金の取り崩しについては、一般会計内でのやりくりが難しくなってきたときに取り崩すものなんですけど、例えばこれがいいときがあって余った場合は積み直すということなんで、一概に毎年2億3,000万円毎年毎年減っていくというわけではないです。これが議会で問題になったのは、これまで東員町は、財政調整基金は積んでいっただけで取り崩したことがなかったんです。ですから問題になったんですが、東員町以外の自治体ではしょっちゅう取り崩して積みなおしてをやっている日常茶飯事なんです。全然特別なことではないということだけ御理解いただきたいと思います。

それから企業誘致についてですが、東員町は面積が少なく企業誘致が出来る場所がないんです。ですので、企業誘致は物理的に無理があるんです。1ヶ所東員病院の東側にハイブリッドパークという民間所有の土地がありまして、そこに1つ企業誘致が決まっています、今月中に正式に調印式をする予定です。先ほどの話の中で、東員駅の前に企業誘致をという話がありましたが、あそこは農業振興地域になっていまして、開発が非常に難しいんです。今コンパクトシティ構想で市街地を作りたいと、なんとか開発できないか県と話していますが、企業誘致なんていうのは全く出来ない土地です。東員IC付近は、300mまでなら物流については開発出来ますが、300mの範囲はほとんどイオンです。あと幹線道路から1km以内というのがありますが、小さい土地に地権者が100人以上いる土地で全員がまとまれるかがネックになっています。今確実に企業を誘致出来る場所は先ほど言ったハイブリッドパークだけですが、民間の土地ですので行政がどうこういうことも出来ません。こういう状況ですのでご理解をいただければと思います。

財政課員

財政調整基金ですが、これまでは予算編成の段階で財政調整基金から予算を繰り入れる必要がない状態です。町長が申したように他市町においては景気によって法人税の影響が大きいものですから、比較的頻繁に財政調整基金のやりくりをやっていますが、東員町は初めてということで議会で注目されました。近年の交付税の額も町税収が増えたのもありますが、平成25年度においては10億円あったのが、平成27年度決算見込みでは7億2,000万円と減額しております。平成27年度も2億5,000万円財政調整基金に積んでおります。

総務部長

昭和 56 年から今まで財政調整基金を崩したことはありませんでした。東員町の財政がとても豊かだったということです。法人税が 2 億円ほど減ったのも影響が大きいですが、個人住民税が高齢化によって毎年 1% 程度減収になっていくのが大きいです。たまた東員町は陸上競技場などの大きな施設があるから税金が高いといわれる方がいらっしますが、それはないです。北海道夕張市等の特別な場合を除き、税率というのは基本的には法律で決まっていますので東員町が高いということはありません。

男性

感想というか意見なんですけど、これからは少子高齢化ですから、誰がやっても難しい問題ばかりで一朝一夕に解決出来るものではありません。私は東員町で 30 年以上生活させてもらっていて、子育てもさせていただきました。とても住みやすい町だと思います。自然も豊かですし、名古屋も近い。色んな施設もありますし、16 年一貫教育という素晴らしいビジョンもあって子育て環境もとてもいいと思います。ただこれを維持するのはとても難しいと思いますので、集中的に投資をする、削れるところは削っていき投資するところは投資するということが必要になってくると思います。転入してくる人達向けに住みやすさをアピールしてということが大事だと思います。

バス通りの街路樹のことをお聞きしたいのですが、最近切って歩道を整備したと思います。桜の木も切っていくと聞いています。確かにきれいになって歩きやすくなったのですが、ちょっと切ない感じがします。切ったのにも理由があると思うのでそれを伺いたいと思います。

町長

ありがとうございます。我々は、ここなら安心して育てられるという町にしていきたいということで、教育委員会を中心に頑張っています。普通は、保育園は福祉課で、幼稚園、小中学校は教育委員会と管轄が分かれていますけど、東員町は全て一貫して教育委員会で担当しているところが特徴になっています。そういうところを御理解していただいて東員町に転入していただいているのかなと思っております。

街路樹に関してですが、数年前に笹尾の歩道は狭く、街路樹が大きくなってきて歩道が盛り上がり危険であるという指摘をいただいて、議論を重ねた結果、街路樹の役目よりも人の安全を優先させようとなり、国の補助金も使いながら歩道の整備をさせていただいております。また、街路樹の根が家の中まで入り込んで下水が止まってしまったというのが何件もあり、それもあって街路樹の撤去をさせていただきました。

女性

東員町を今後良くしていくために、やはり若い人に入ってきていただく必要があると思います。そのために町の住みやすさをアピールすることも必要だと思います。ごみの話で個別回収から拠点回収へという話がでましたが、財政上のこともあるんですけど、拠点回収にすると集積場の掃除というか後始末とかもしなければなりませんし、高齢化してきてそういうことが出来なくなってくる人が増えてくると思います。

色々な考え方があると思いますますので、広く町民の声を聞いていただければと思います。

あと、アダム企画さんの前の道路ですが、歩道が途中で切れているんですが何とかならないでしょうか。

町長 あの道路はもうあのままです。というのは、アダム企画さんの店舗のすぐ前が道路になるという計画だったんです。それなら、アダム企画さんにどっかに移転してもらえばよかったんですが、県は移転はさせない、ともかく店舗前の、今の道路部分だけ売ってくれという話だったんです。実は私それ相談にのったんですが、そんなことはおかしい、商売の邪魔をする権利はないんだからちゃんと移転の話をするべきだと話をさせていただきました。それで県とアダム企画さんと話し合いをもったんですが、県は頑として聞かないので結局今の形になりました。あれははっきり言って県の責任です。アダム企画さんは移転するなら移転しますよと言ってくれたんですが、建物にぎりぎりかからないからといってそんなものは買えない、移転はさせないと言って県は頑として聞きませんでした。

 ごみの集積場の話は今後議論をさせていただきたいと思います。

男性 新しい焼却施設の建設ですが工事車両はどのルートを通りますか。

環境防災課員 工事に伴ってどれくらいの車両が通るかは計算させていただいていまして、現在アセスメントも縦覧中なんですけど、東員病院の前の道路を通るルートと、多度の方からの新しい道路を通るルートの2ルートになります。

女性 多度方面から桑名信用金庫までの道が狭いのもっと広くしてもらえないでしょうか。ダンプが通るので危ないんです。

町長 あそこは県道なんですけど、ずっと昔から要望はさせていただいていますが手を付けてもらえません。鳥取地区からも要望をいただいているので、これからは県には強く要望をさせていただきたいと思います。

男性 選挙のときとかにつける看板なんですけど、町的美観条例とかつくって撤去してもらえませんか。カネスエの交差点とか特にみっともなくて。

町長 個人的にはあの看板は取ってもいいと思っているんですが、選挙する身としてはちよっとなかなか言いにくいところがあります。

男性 ブルーベリーはその後順調にっていますか。

町長

順調にっています。来年、再来年くらいにはぶどうもブルーベリーも見通しがたつと聞いています。今年も色々と考えていますのでよろしく願いいたします。